

国土数値情報（河川・水系域テーブル）

製品仕様書

第 1.1 版

---

平成 23 年 3 月

国土交通省国土計画局

---

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2010 年 3 月	初版
第 1.1 版	2011 年 3 月	旧フォーマット（統一フォーマット）から GML 形式への変換作業に伴い、全体の見直しを実施

# 目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 水文パッケージ.....	5
4.1.3 河川・水系域テーブルパッケージ.....	6
4.2 空間スキーマプロファイル.....	11
4.3 時間スキーマプロファイル.....	11
5 参照系.....	11
5.1 座標参照系.....	11
5.2 時間参照系.....	11
6 データ品質.....	12
7 データ製品配布.....	14
7.1 配布書式情報.....	14
7.2 配布媒体情報.....	14
8 メタデータ.....	15

## 付属資料

- 1 符号化仕様作成のためのタグ一覧
- 2 符号化仕様

# 1 概覧

## 1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：  
国土数値情報（河川・水系域テーブル）製品仕様書 第 1.1 版
- 日付：2011 年 3 月 18 日
- 作成者：国土交通省 国土計画局 参事官室
- 言語：日本語
- 分野：陸水
- 文書書式：PDF

## 1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、河川法に基づき指定された全国の河川及び湖沼区間の流路について、単位流域ごとに人口（単位流域内、単位流域の非集水域内、上流側全流域、上流側全流域の非集水域内）、流路延長等を整備したものである。

## 1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲  
日本全国
- 時間範囲  
昭和 52 年度，平成 7 年度

## 1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

## 1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土計画局 GIS ホームページ ガイダンス  
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html>

## 1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

## 1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

## 2 適用範囲

---

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

### 2.1 適用範囲識別

国土数値情報（河川・水系域テーブル）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

### 2.2 階層レベル

データ集合

## 3 データ製品識別

---

### 3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（河川・水系域テーブル）データ

■ 日付

2011 年 3 月 18 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 参事官室

電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569

Email：nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

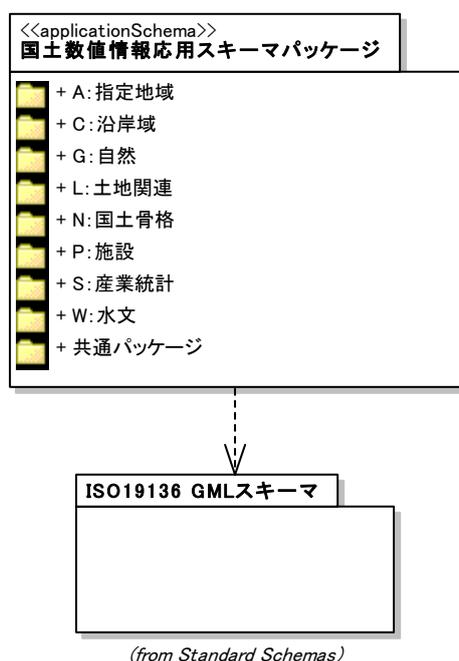
## 4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

### 4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

#### 4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

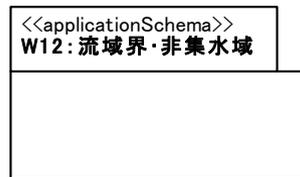
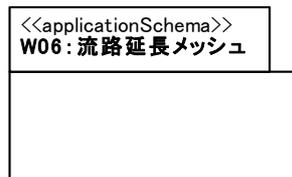
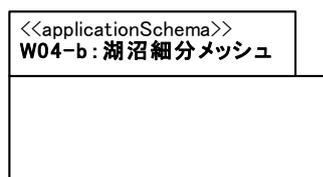
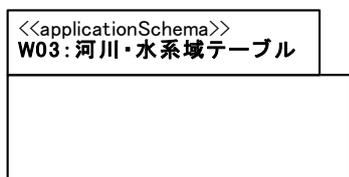
このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



#### 4.1.2 水文パッケージ

---

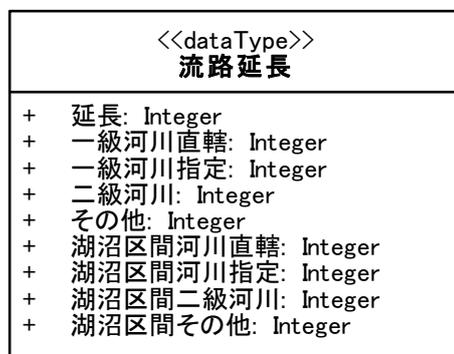
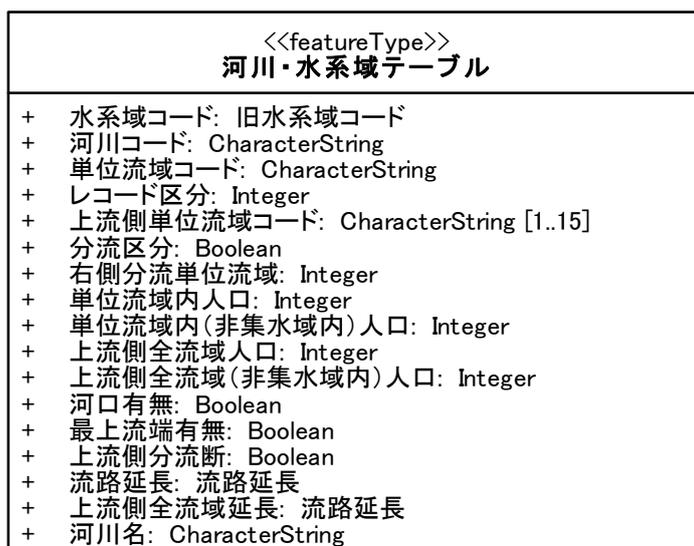
このパッケージは、水文に関するパッケージをまとめたものである。



### 4.1.3 河川・水系域テーブルパッケージ

このパッケージは、河川・水系域テーブルに関する内容をまとめたものである。

#### 4.1.3.1 応用スキーマクラス図



#### 4.1.3.2 応用スキーマ文書

##### 河川・水系域テーブル

河川法に基づき指定された全国の河川及び湖沼区間の流路について、単位流域ごとに人口（単位流域内、単位流域の非集水域内、上流側全流域、上流側全流域の非集水域内）、流路延長等を整備したものである。ここで、単位流域とは、単位流路の下流端における流域から、その上流における流域を除いた地域のことであり、単位流路とは、以下の点により分断された河川区間である。

- ・河口点，合流点，分流点，最上流点，1流路上の河川名称の変わる地点
- ・湖沼の流入・流出口，非集水域界と流路との交叉点

また、非集水域とは、低平な平野，盆地などのように、地形の傾斜や河川の勾配がゆるやかなため、降水が特定の河川に集中しにくく、逆に河川より溢流，氾濫する地域である。

上位クラス：

---

抽象/具象区分：具象

---

属性

---

水系域コード：旧水系域コード

水系域を一意に識別するための番号。

管轄地建番号（2桁）＋水系域番号（3桁）。

- ・管轄地建番号について

北海道開発局:81，東北地方建設局:82，関東地方建設局:83，北陸地方建設局:84，中部地方建設局:85，近畿地方建設局:86，中国地方建設局:87，四国地方建設局:88，九州地方建設局:89，沖縄開発局:90

- ・水系域番号について

全国通しの一連番号で，設定基準は以下のとおり。

一級河川を含む単一水系域:001～199，主要二級河川を含む単一水系域:201～499，複合水系域:501～949，流出口のない水系域:951～999，対象外地域:000

※単一水系域とは，単独の河口部を有する河川に対応させて設定した水系域とし，複合水系域とは，地域的にひとまとめにできる幾つかの河口部を有する河川の流域全体として設定した水系域とする。

河川コード：CharacterString

単位流域コード：CharacterString

レコード区分 : **Integer**

通常は 0, 河川単位流域台帳が複数存在するとき 1, 2, 3・・・となる。

レコード区分が 0 以外のとき, 河口有無以下の項目は空白となる。

上流側単位流域コード[1..15] : **CharacterString**

上流側単位流域コードは, 上流側に向かって左側から右側の順序で記述する。

分流区分 : **Boolean**

■ 定義域

値	対応する内容
true	単位流路の最上流端が分岐点であるとき
false	その他

右側分流単位流域 : **Integer**

分流区分が true でかつ下流側から分流点を見たとき単位流路より右側に単位流路がある場合, 右隣単位流域コードを記述する。

単位流域内人口 : **Integer**

単位流域とは, 単位流路の下流端における流域から, その上流における流域を除いた地域。

単位流域内(非集水域内)人口 : **Integer**

非集水域とは, 低平な平野, 盆地などのように, 地形の傾斜や, 河川の勾配がゆるやかなため, 降水が特定の河川に集中しにくく, 逆に河川より溢流, 氾濫する地域。

集水域とは, 降水が地表流として流出する際, 起伏のある山岳地帯や台地のように, 容易に特定の河川に集中すると考えられる地域。

上流側全流域人口 : **Integer**

上流側全流域(非集水域内)人口 : **Integer**

河口有無 : **Boolean**

■ 定義域

値	対応する内容
true	有

false	無
-------	---

最上流端有無 : Boolean

■ 定義域

値	対応する内容
true	有
false	無

上流側分流断 : Boolean

■ 定義域

値	対応する内容
true	有
false	無

流路延長 : 流路延長

上流側全流域延長 : 流路延長

単位流路の上流側全流域流路延長。

河川名 : CharacterString

**流路延長**

上位クラス :

---

抽象/具象区分 : 具象

---

属性

---

延長 : Integer

単位は「km」とする。

一級河川直轄 : Integer

単位は「km」とする。

一級河川指定 : Integer

単位は「km」とする。

二級河川 : Integer

単位は「km」とする。

その他 : Integer

単位は「km」とする。

湖沼区間河川直轄 : Integer

単位は「km」とする。

湖沼区間河川指定 : Integer

単位は「km」とする。

湖沼区間二級河川 : Integer

単位は「km」とする。

湖沼区間その他 : Integer

単位は「km」とする。

## 4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 空間スキーマ」を採用する。

## 4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 時間スキーマ」を採用する。

# 5 参照系

---

## 5.1 座標参照系

参照系識別子：なし

## 5.2 時間参照系

参照系識別子：GC / JST

## 6 データ品質

この品質要求は、国土数値情報の旧フォーマット（統一フォーマット）のデータから変換する JPGIS 第 2.1 版 附属書 12（規定）地理マーク付け言語（GML）に準拠するデータに適用するものである。

ここでは、旧フォーマットのデータと GML 準拠のデータとの差異（完全性）及び応用スキーマに対する適合性（論理一貫性）について品質を要求する。

なお、今後このデータを新たに作成又は更新する際には、完全性及び論理一貫性の品質要求に加え、位置正確度、時間正確度及び主題正確度に関する品質要求を必要に応じ追加する。

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合と、旧フォーマットのデータとの比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。ただし、旧フォーマットのデータに存在する“図形余り”及び“台帳データ余り”のインスタンスについて比較対象から除外する。 次の場合エラーとする。 ・対応関係がとれない地物インスタンスがデータ集合内に存在する場合。 ・データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。 誤率（％）＝（過剰なデータ数／旧フォーマットに含まれる比較対象インスタンス総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。計算した誤率と適合品質水準とを比較し、次の式に基づき可否を判定する。 誤率＝0％であれば“合格”，誤率＞0％であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0％

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合と、旧フォーマットのデータとの比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。ただし、旧フォーマットのデータに存在する“図形余り”及び“台帳データ余り”のインスタンスについては比較対象から除外する。 次の場合エラーとする。 ・旧フォーマットのデータと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 誤率（％）＝（漏れのデータ数／旧フォーマットに含まれる比較対象のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。計算した誤率と適合品質水準を比較し、次の式に基づき可否を判定する。 誤率＝0％であれば“合格”，誤率＞0％であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0％

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくないエラー箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。 誤率（%）=（XML 文書の構文エラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	データ集合が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラム（XML パーサー）によって全数検査する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	GML 標準スキーマ（XMLSchema）及び GML 応用スキーマ（XMLSchema）に対する、データ集合に存在する矛盾（エラー）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。 XMLSchema に対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。 ■地物に関する検査項目 地物インスタンス、地物属性及び地物関連の型が、応用スキーマが規定する地物型と一致しない場合、エラーとする。 ■幾何要素（空間オブジェクト）に関する検査項目 データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。 誤率（%）=（XMLSchema に対するエラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	データ集合が XMLSchema と矛盾しないか、検査プログラム（バリデータ）によって全数検査する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	応用スキーマが規定する定義域に対する、データ集合に存在する定義域外の値をもつ地物属性インスタンスの割合（誤率）を計算する。 誤率（%）=（地物属性の定義域に対するエラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	検査プログラムによって全数検査を実施する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

## 7 データ製品配布

### 7.1 配布書式情報

#### ■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

#### ■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

[http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO\\_19136\\_Schemas/](http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/)

国土数値情報 (河川・水系域テーブル) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

#### ■ 文字集合

UTF-8

#### ■ 言語

日本語を使用する。

### 7.2 配布媒体情報

#### ■ 単位

全国

#### ■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

## 8 メタデータ

---

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数値情報（河川・水系域テーブル）製品仕様書 第 1.1 版

---

付属資料

## 1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
水文					
W03 河川・水系域テーブル					
河川・水系域テーブル				RiverWaterSystemTable	river and water system table
	水系域コード	CharacterString		waterSystemCode	water system code
	河川コード	CharacterString		riverCode	river code
	単位流域コード	CharacterString		unitValleyCode	unit valley code
	レコード区分	Integer		sequenceNumberInUnitValley	sequence number in unit valley
	上流側単位流域コード	Integer		upstreamUnitValleyCode	upstream unit valley code
	分流区分	Integer		splitFlowType	split flow type
	右側分流単位流域	Integer		rightSideUnitValley	right side unit valley
	単位流域内人口	Integer		populationInUnitValley	population in unit valley
	単位流域内(非集水域内)人口	Integer		populationInNonWatershed	population in non-watershed
	上流側全流域人口	Integer		upstreamPopulation	upstream population
	上流側全流域(非集水域内)人口	Integer		populationInUpstreamNonWatershed	population in upstream non-watershed
	河口有無	Boolean		PresenceOfMouthOfRiver	presence of mouth of a river
	最上流端有無	Boolean		PresenceOfUpstreamBorder	presence of upstream border

		クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
			上流側分流断	Boolean	upstreamSplitFlow	upstream split flow
			流路延長	流路延長	streamLength	stream length
			上流側全流域延長	流路延長	upstreamLength	upstream length
			河川名	CharacterString	riverName	river name
		流路延長			streamLength	stream length
			延長	Integer	length	length
			一級河川直轄	Integer	firstGradeRiverDirectControl	first-grade river direct control
			一級河川指定	Integer	firstGradeRiverDesignation	first-grade river designation
			二級河川	Integer	secondGradeRiver	second-grade river
			その他	Integer	other	other
			湖沼区間河川直轄	Integer	RiverDirectControlInLake	river direct control in lake
			湖沼区間河川指定	Integer	firstGradeRiverDesignation	river designation in lake
			湖沼区間二級河川	Integer	secondGradeRiverInLake	second-grade river in lake
			湖沼区間その他	Integer	otherInLake	other in lake

## 2 符号化仕様

---

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="1.1">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.x
sd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="RiverWaterSystemTable" type="ksj:RiverWaterSystemTableType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="RiverWaterSystemTableType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>河川・水系域テーブル</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence>
```

```

<xsd:element name="waterSystemCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>水系域コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>OldWaterSystemCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="riverCode" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>河川コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="unitValleyCode" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>単位流域コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="sequenceNumberInUnitValley" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>レコード区分</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="upstreamUnitValleyCode" type="xsd:string" maxOccurs="15">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>上流側単位流域コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="splitFlowType" type="xsd:boolean">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>分流区分</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="rightSideUnitValley" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>右側分流単位流域</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="populationInUnitValley" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>単位流域内人口</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="populationInNonWatershed" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>単位流域内(非集水域内)人口</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="upstreamPopulation" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>上流側全流域人口</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="populationInUpstreamNonWatershed" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>上流側全流域(非集水域内)人口</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="PresenceOfMouthOfRiver" type="xsd:boolean">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>河口有無</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="PresenceOfUpstreamBorder" type="xsd:boolean">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>最上流端有無</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="upstreamSplitFlow" type="xsd:boolean">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>上流側分流断</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="streamLength" type="ksj:StreamLengthPropertyType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>流路延長</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="upstreamLength" type="ksj:StreamLengthPropertyType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>上流側全流域延長</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="riverName" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>河川名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="RiverWaterSystemTablePropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:RiverWaterSystemTable"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="RiverWaterSystemTableMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:RiverWaterSystemTable"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>

```

```

</xsd:complexType>
<xsd:element name="StreamLength" type="ksj:StreamLengthType"
substitutionGroup="gml:AbstractObject"/>
<xsd:complexType name="StreamLengthType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>流路延長</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="length" type="xsd:integer">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>延長</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="firstGradeRiverDirectControl" type="xsd:integer">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>一級河川直轄</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="firstGradeRiverDesignation" type="xsd:integer">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>一級河川指定</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="secondGradeRiver" type="xsd:integer">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>二級河川</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="other" type="xsd:integer">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>その他</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="RiverDirectControlInLake" type="xsd:integer">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>湖沼区間河川直轄</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>

```

```

</xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="firstGradeRiverDesignation" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>湖沼区間河川指定</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="secondGradeRiverInLake" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>湖沼区間二級河川</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="otherInLake" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>湖沼区間その他</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="StreamLengthPropertyType">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element ref="ksj:StreamLength" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
</xsd:schema>

```